

2018年3月6日

「SUBARU VIZIV TOURER CONCEPT」をジュネーブ国際モーターショーで世界初公開

SUBARUは、開催中の2018年ジュネーブ国際モーターショーにおいて、「SUBARU VIZIV TOURER CONCEPT」*を世界初公開しました。



SUBARU VIZIV TOURER CONCEPT

SUBARUは2013年のSUBARU VIZIV CONCEPTを皮切りに、お客様にお届けする安心で楽しいクルマづくりの将来ビジョンを、毎回異なるテーマのもとコンセプトカーの形で具現化してきました。今回はツアラーをテーマに、水平対向エンジンを核としたシンメトリカルAWDと、これまでSUBARUが培ってきた走り・使い勝手・安全の価値を融合させ、クルマで出かける愉しさが存分に味わえるツアラーとしての新たな価値をSUBARU VIZIV TOURER CONCEPTで表現しました。また、今後の自動運転普及期を見据え、進化型アイサイトと各種デバイスを組み合わせた高度運転支援技術も搭載することで、長距離ドライビングにおいてもドライバーの疲労を軽減し、アクティブライフを安心して楽しむことのできる、SUBARUらしさの詰まったクルマに仕上げています。

今後もこの方向性をさらに進化させ、デザイン・開発の両面でSUBARUの提供する価値『安心と愉しさ』を備えたクルマ作りに取り組んでいきます。

*: VIZIV(ヴィジヴ)は「Vision for Innovation」を語源とする造語(「革新のための未来像」の意)

【主な仕様】

ボディサイズ(全長 X 全幅 X 全高) : 4,775 X 1,930 X 1,435 mm

ホイールベース : 2,730 mm

タイヤサイズ : 245/40 R20

乗車定員 : 4名

【デザインの特徴】

SUBARUが代々受け継いできた高い実用性と走りを両立したワゴンモデルを念頭に置き、現在のSUBARUに共通するデザインフィロソフィ“DYNAMIC x SOLID”に基づき、ツアラーとして表現したのがSUBARU VIZIV TOURER CONCEPTです。

ヘキサゴングリルから始まる前傾姿勢の硬質なボディに、内側から強い圧力で張り出した躍動感あふれる4つのフェンダーを組み合わせ、走りの愉しさを強調しつつ、安心感を表現しました。リアには大きなカーゴスペースを設け、道具としての高い実用性も兼ね備えています。複数の異なる価値をクロスオーバーさせたツアラースタイルで、乗る人のアクティブライフをさらに充実させる、SUBARUがお客様に提供する『安心と愉しさ』を全身で表現した新たな価値の提案です。



【高度運転支援技術】

SUBARUが2020年頃に見込む高度運転支援技術を、水平対向エンジンやシンメトリカルAWDがもたらすパフォーマンスと融合し、SUBARUならではの安心で楽しいツアラー像を表現しました。性能を一層向上させた次世代アイサイト、レーダー、高精度GPS・地図等の採用により、究極の安全として「自動車事故ゼロ」の実現を追求します。